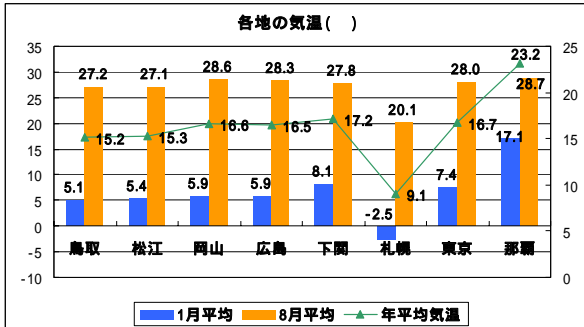


(2) 中国地方の気候

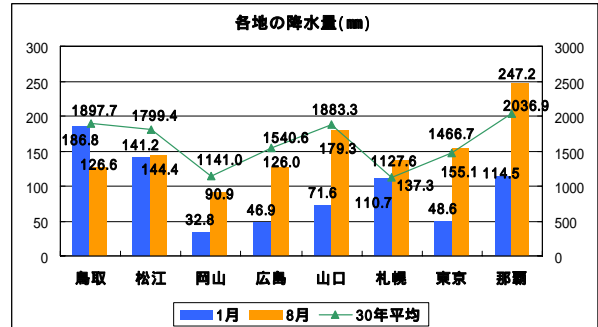
穏やかな気候である。

中国地方の気候は、日本海岸式気候（山陰側）と瀬戸内式気候（山陽側）の2つに分けられており、夏季及び冬季の気温・降水量に若干の差があります。

気温については、山陰、山陽で年平均で1～2 程の気温差があり、降水量に関しては、山陰側は季節風の影響で比較的降雪量が多く、山陽側は冬季の降雪量が少ないため、大きな差があります。

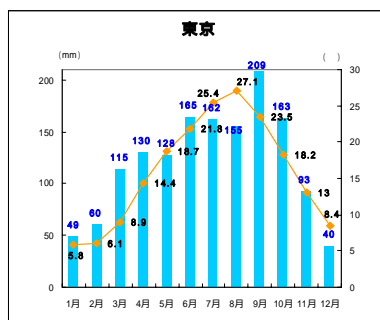
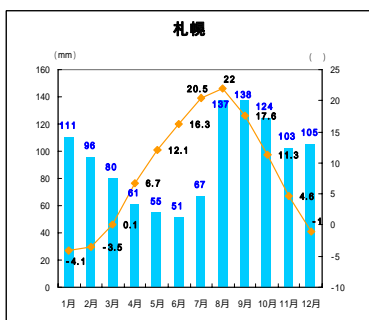
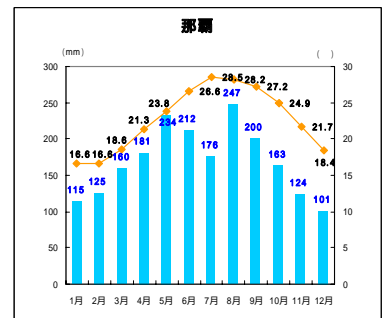
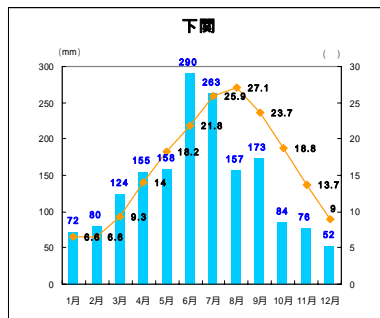
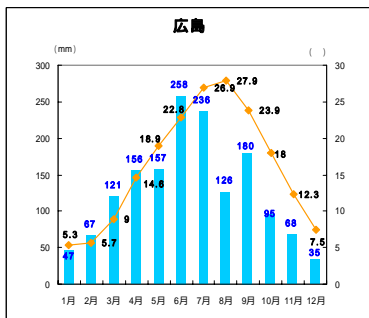
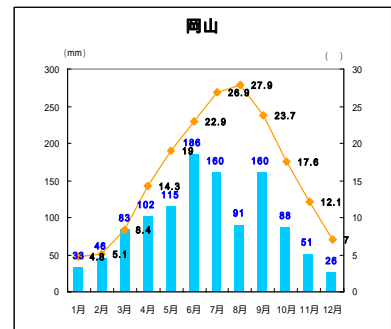
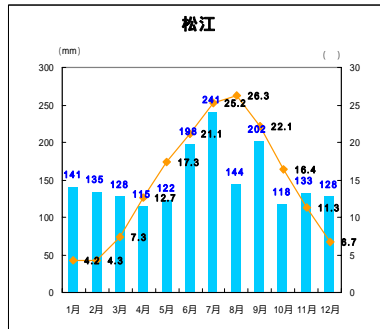
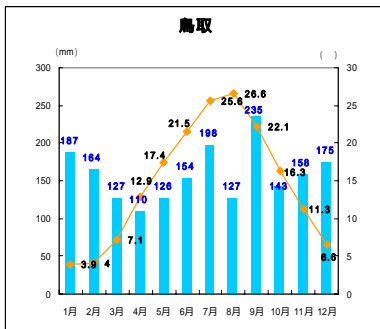


出典：気象庁 HP (2002 年)



出典：気象庁 HP (1971～2000 年の平均値)

中国地方主要都市及び全国主要都市の月別平均気温・年平均降水量



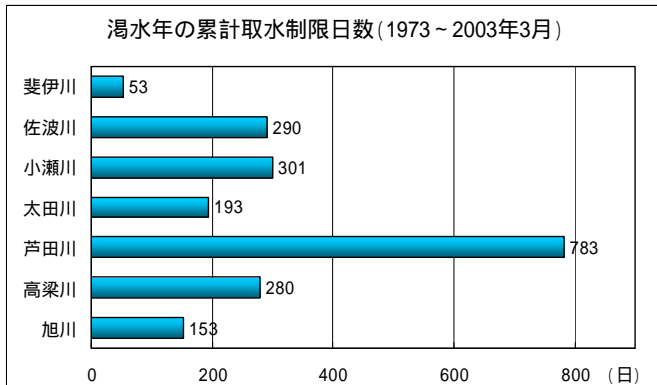
出典：気象庁 HP
(1971～2000 年の平均値)

山陽地方は降水量が少なく渇水になりやすい。

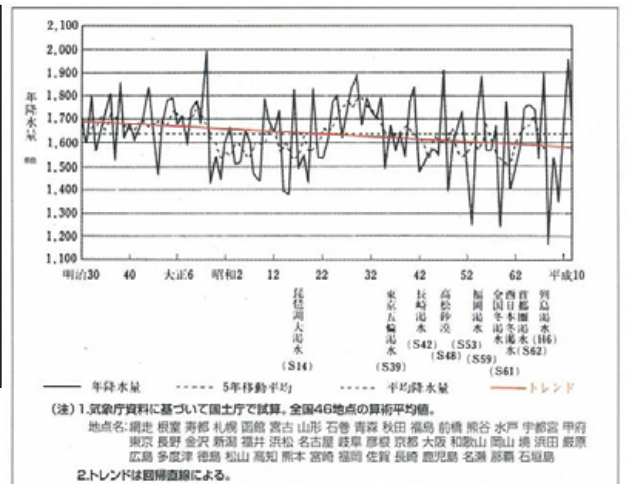
中国地方の直轄河川では、1973年から2003年3月末の約30年間に主な7河川で合計2,053日間の取水制限が行われ、市民生活や産業活動に多大な影響が生じました。

また、人口は減少傾向にあるとはいえ、近年の小雨化傾向や生活水準等の高度化により消費量が増大し、渇水に対する安全度が低下しています。

日本の年降水量の経年変化（1897～2000年）

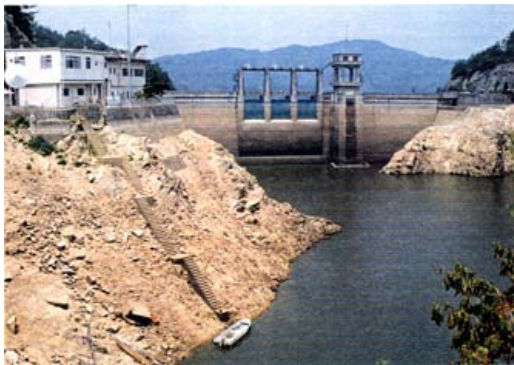


出典：中国地方整備局 河川部河川管理課



出典：「日本の水資源」国土庁長官官房水資源部編

平成6年の渇水状況 (広島県三川ダム)



平成6年の渇水時の給水状況 (広島県尾道市)



平成14年渇水対策本部の設置

**8年ぶりに
渇水対策本部
中国整備局が設置**

国土交通省中国地方整備局は二十五日、高梁川(岡山県)や音田川(広島県)の渇水に対応し海ダム貯水状況を公開し、

水対策本部を八年ぶりに設置した。

広島市中区と同整備局で藤本係局長らが看板を設け、ホームページ(HP)を開設した。

近畿、九州の地方整備局にも設置している。

市民に節水を呼び掛けている。

同本部は複数の工事事務所に渇水対策本部を設けた場合に設置する。九月の岡山河川工事事務所が続き、福山工事事務所が二十五日に本部を設けた。高梁川水系の新成羽川など五つのダムの貯水量は二十五日現在、平均で半年の約四分の一、三川ダムは八割、ともに取水制限が行われている。

水対策本部は岡山、近畿、九州の地方整備局にも設置している。

出典：平成14年11月26日 産経新聞